

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔 技術・家庭 〕 種目〔 技術分野 〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [技術・家庭] 種目 [技術分野]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、鉄道や都市高速道路などの交通網が発達し、大型商業施設が誘致され、自動車産業や重工業に関連した多くの工場が立地する中国地方の経済・産業の拠点となっている地域である。
- 生徒は、都市型の生活環境にあつて、世の中の技術に触れる機会が多く、技術分野の学習に関心は高いが、ものづくり体験や生活体験が少ないため、創意・工夫する力、他者とのかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫 ② 伝統と文化に関する内容の記述
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫

3 各教科書の特徴及び意見

1 基礎・基本の定着

(1) 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫

- 学習内容と到達度を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「学習のまとめ」に、「学習をふり返ろう」で自己評価を、「学習したことを確かめよう」で評価問題を設けている。また、「大切な用語」をまとめた一覧を付している。
- 木材・金属・プラスチックの加工に関する基礎的な技能を、「基礎技能」としてまとめて示している。
- 各「内容」の導入部に、学習の内容と流れを具体例とともに写真やふき出しで示している。
- 節ごとに、見出しの下に「目標」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。

(2) 伝統と文化に関する内容の記述

- 「伝統・文化」のマークを付し、薬師寺金堂や熊本城など歴史的建造物を再建した伝統技術や伝承してきた技術者のメッセージを、写真やイラストなどを掲載して紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを「技術は夢をかなえるためにある」「技術は未来を創る」「これからの学習を見てみよう」の3つのテーマで構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
- 「資料」のコーナーを設け、学習内容とかわりのある話題を掲載している。
- 目的意識や課題意識をもたせるよう、各節のはじめに、「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合おう」「やってみよう」の欄を設けている。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」と各節の最後のまとめに、「生活に生かそう」を設けている。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「実験」「観察」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。
- ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、各「内容」のものづくりである製作、デジタル作品の制作、植物を栽培する育成の場面で、計画、実行、評価、改善（PDCAサイクル）の流れを示している。
- 実習例に問題解決の流れを示すとともに、「問題の発見」を示し、問題例から実習が行われるようにしている。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
- これからの技術のあり方やかわり方を考える「技術分野の学習を終えて」を学習の最後に位置付けている。
- 実習例を、A材料と加工9、Bエネルギー変換6、C生物育成11、D情報8、計34示している。
- A材料と加工に関する技術では、材料と加工法、製作品の設計を学習した後、作品を製作するよう配列している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 発展的内容としてLEDの仕組みの説明や暗くなると自動的に点灯する回路などの実習例を4つ掲載している。
- 生徒の興味・関心に応じて扱えるよう、脚注に「ひとくち Q&A」を設けている。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。

- 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、四角囲みに安全マークを付して示している。
- 基本的な作業や工具の使い方の説明に、作業中の生徒の視線に近いアングルで撮影した写真を付している。
- 「実習例」「基礎技能」のページの爪を、右ページの小口に設けている。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫

- 「デジタル作品の設計・制作」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
- 各「内容」で、製作工程表や育成計画の例、ワークシート例、アイデア申請書などを示している。
- 各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けている。
- 「話し合ってみよう」のコーナーを設け、話し合う言語活動例を設定している。

意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、各「内容」のものづくりである製作、デジタル作品の制作、植物を栽培する育成の場面で、計画、実行、評価、改善の流れを示していること、各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けていること、特設のコーナーで話し合う言語活動例を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や創意・工夫する力、他者とかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある本市生徒の状況に対応することができるものである。

- 1 基礎・基本の定着
 - (1) 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫
 - 学習内容と到達度を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「まとめ」に、学習内容のまとめを示すとともに、「章末問題」を設けている。
 - 木材の加工に関する基礎的な技能を、題材「正確につくるボックス棚」の製作過程に沿って「基礎技能」として示している。
 - (2) 伝統と文化に関する内容の記述
 - 「木材が支える文化と伝統」で、樽や神輿など伝統的な木工製品を製作する伝統技術を紹介している。
- 2 主体的に学習に取り組む工夫
 - (1) 学習意欲を高めるための工夫
 - ガイダンスのページを、「技術」という語から連想される6つの項目と、「技術分野で何を学ぶか」で構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
 - 「資料」、「コラム」のコーナーを設け、学習内容とかかわりのある話題を掲載している。
 - (2) 問題解決的な学習を実施するための工夫
 - 「考えよう」、「調べよう」、「やってみよう」、「実験」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。
- 3 内容の構成・配列・分量
 - (1) 単元・題材や資料等の配列・分量
 - ガイダンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
 - 実習例を、A材料と加工8、Bエネルギー変換5、C生物育成7、D情報2、計22示している。
 - A材料と加工に関する技術では、作品の製作後に、材料と加工法、製作品の設計を学習し、さらに工夫した製作をするよう配列している。
 - (2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況
 - 発展的内容としてLEDの仕組みの説明やライトレースカーの製作などの実習例を3つ掲載している。
- 4 内容の表現・表記
 - (1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
 - 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。
 - 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、注意マークを付して示している。
 - (2) 文字の大きさや配色等の工夫
 - ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。
- 5 言語活動の充実
 - (1) 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫
 - 「デジタルものづくり」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
 - 各「内容」で、アイデアシートや育成計画表の例、評価シート例を示している。
 - 設計では、自分が設計した内容を伝えるため、第三角法による正投影図に表す活動を設けている。

1 基礎・基本の定着

(1) 基礎的・基本的な知識と技術の定着を図る工夫

- 学習内容のふり返りができるよう、学習指導要領で示された「内容」A材料と加工、Bエネルギー変換、C生物育成、D情報ごとの「学習のまとめ」に、自己評価ができる「学習をふり返ろう」を設けている。
- 木材・金属・プラスチックの加工に関する基礎的な技能を、「木材による製作」と「金属・プラスチックによる製作」に分けて、製作過程に沿って示している。
- 各「内容」の導入部に、学習の流れと学習内容に関する技術の歴史を年表で示している。
- 節ごとに、見出しの横に「学習の目標」を示している。
- 基礎技能の定着を図るため、加工方法ごとに「学習の目標」を示している。
- 「ガイダンス」に、4つの「内容」を示し、「小学校での学び」「技術分野での学び」を付し、小学校と中学校の学習のかかわりを説明している。

(2) 伝統と文化に関する内容の記述

- 「今も生きる先人の技術」、「活躍している日本の伝統技術」で、法隆寺の五重塔の構造や陶磁器を製作する技術などを、写真やイラストなどを掲載して紹介している。
- 各「内容」の導入部の「技術の歴史」で、伝統技術を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを、「技術分野で学ぶこと」「技術を見つけよう」「技術とわたしたちの生活」「学習の見通しをもとう」の4つのテーマで構成し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。また、3年間の目標を記述する欄を設けている。
- 「参考」のコーナーを設け、学習内容とかがわりのある話題を掲載している。
- 目的意識や課題意識をもたせるよう、各節のはじめに、「考えてみよう」「調べてみよう」「思い出してみよう」「話し合ってみよう」「観察してみよう」の欄を設けている。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けている。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「?」、「実験」のコーナーを設け、実践的・体験的な活動を示している。
- ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、ガイダンスの「学習の進め方と作業の安全」と製作の場面で、計画、実行、評価、改善(PDCAサイクル)の流れを、具体例を付して示している。
- 実習例に「工夫してみよう」を示し、考えながら実習が行われるようにしている。
- 「材料と加工に関する技術の評価・活用」に、飲料の缶とペットボトルの製造技術について調べる学習を設けている。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A材料と加工→Bエネルギー変換→C生物育成→D情報の順に配列している。
- これからの技術のあり方やかかわり方を考える「進んで技術の評価し生活をよりよくする」を学習の最後に位置付けている。
- 実習例を、A材料と加工8、Bエネルギー変換6、C生物育成10、D情報6、計30示している。
- A材料と加工に関する技術では、材料と加工法、製作品の設計を学習した後、作品を製作するよう配列している。
- 作物の栽培では、収穫後の土や資材が環境に与える影響について考える「収穫後の管理」の学習を設けている。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 発展的内容としてLEDの仕組みの説明や電源を切り替えることができるLEDライトなどの実習例を4つ掲載している。
- 生徒の興味・関心に応じて扱えるよう、脚注に「豆知識」を設けている。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 電気回路では、回路図と写真を対比して示している。

- 実習を安全に行う上で、気を付けなければならないことを、安全マークを付して示している。
- 基本的な作業や工具の使い方の説明に、作業中の生徒の視線に近いアングルで撮影した写真を付している。
- 学習内容が分かる写真を記した爪見出しを、奇数ページ右上に設けている。
- 栽培の実習例では、細かな作業がわかるよう、すべての作業場面をイラストで示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 言葉や図表を用いて考え説明したり、実習等の結果を整理し考察したりする学習活動の工夫

- 「デジタル作品の設計と制作」で、プレゼンテーションの制作と発表を行う言語活動例を示している。
- 各「内容」で、製作工程表や育成計画表の例、構想用紙、評価・活用を考えるワークシートの例などを示している。
- 設計では、自分が設計した内容を伝えるため、第三角法による正投影図や表題欄、部品表を設けた図面に表す活動を設けている。
- 各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けている。
- 木材による製作では、お互いの製作品を評価し合う言語活動例を設けている。
- 情報セキュリティと情報モラルに関する学習では、すべての節の導入部に課題として「話し合ってみよう」を設定している。

意見

開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

開隆堂出版の教科書の特徴である、ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう、ガイダンスの「学習の進め方と作業の安全」と製作の場面で、計画、実行、評価、改善の流れを、具体例を付して示していること、「材料と加工に関する技術の評価・活用」を学習する際、飲料の缶とペットボトルの製造技術について調べる学習を設けていること、各「内容」に関する技術を評価し、その活用方法を理由を示して書く活動を設けていること、木材による製作では、お互いの製作品を評価し合う言語活動例を設けていること、情報セキュリティと情報モラルに関する学習では、すべての節の導入部に課題として話し合う活動を設定していることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や創意・工夫する力、他者とかかわる力や知的財産を尊重する態度、安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係について理解する力などに課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

平成28年度から使用する広島市立中学校用教科用図書の採択について（答申）

教科〔技術・家庭〕 種目〔家庭分野〕

平成28年度から使用する中学校用教科書の採択について

教科 [技術・家庭] 種目 [家庭分野]

1 本市の実態や生徒の状況

- 本市は、大型商業施設やコンビニエンスストアが多くある地域がある一方、スーパーマーケットが近くにないという地域もあるなど、保護者や生徒の生活様式や価値観の多様化がみられる地域である。
- 生徒は、取り巻く社会の変化やライフスタイルの変化により、家庭での生活経験が少なくなっており、家庭生活において、基礎的・基本的な知識や技術を習得できていない状況が見られる。また、調理等の実習には意欲的に取り組み、学習のまとめには、家庭で実践したいと書く生徒は多いが、学校で学んだ知識や技術を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題がある。

2 調査・研究の観点と視点

観 点	視 点
<基礎・基本の定着>	① 基礎的・基本的な知識や技術の定着を図る工夫 ② 伝統と文化に関する内容の記述
<主体的に学習に取り組む工夫>	③ 学習意欲を高めるための工夫 ④ 問題解決的な学習を実施するための工夫
<内容の構成・配列・分量>	⑤ 単元・題材や資料等の配列・分量 ⑥ 発展的な学習に関する内容の記述の状況
<内容の表現・表記>	⑦ 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑧ 文字の大きさや配色等の工夫
<言語活動の充実>	⑨ 調べたことや実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

3 各教科書の特徴及び意見

1 基礎・基本の定着

(1) 基礎的・基本的な知識や技術の定着を図る工夫

- 節ごとに、見出しの下に「目標」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。
- 学習内容と到達度を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A家族・家庭、B食生活、C衣生活・住生活、D消費生活と環境ごとの「学習のまとめ」に、自己評価できる「学習をふり返ろう」と大切な用語をまとめた一覧を示すとともに、評価問題「学習したことを確かめよう」を設けている。
- B食生活・C衣生活では、特設ページ「基礎技能」に、実習時、確認すべき基礎的な技能をまとめて掲載するとともに、実習例を示している。
- 「小学校」のマークを付し、小学校で学んだことを、各「内容」の導入ページと側注に示している。
- ガイダンスの「中学校家庭分野の学習内容を見てみよう」で、小学校と中学校の学習の系統性を活動場面の写真と文章で示している。
- 各節の最後の「まとめよう」「生活に生かそう」で、まとめの活動を設けている。
- 巻末に「言葉のページ」を設け、家庭科の独特な言い回しや名称を領域ごとにまとめて解説している。

(2) 伝統と文化に関する内容の記述

- 「伝統・文化」のマークを付し、写真やイラストなどを掲載し、衣食住に関する事例を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを「どんな学習をするのだろうか」「どんな自分になりたいかな」「自分と家族との生活を見つめよう」の3つのテーマで構成し、生活チェックや「やってみよう」「考えてみよう」で、学習の仕方を示すとともに、自分と家族、社会の関係を考えさせる活動を設定している。また、3年後の自分について記述する欄を設けている。
- 学習したことを日常生活や社会と関連付けるためのコラム「プロに聞く!」を設け、働く人のメッセージを示している。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」と各節の最後のまとめに「生活に生かそう」を設けている。
- 実習ページに「私のオリジナル」を設け、工夫例として示している。
- B食生活に、地域の食材として、広島市の野菜(ひろしまそだち)を掲載している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「選択 生活の課題と実践」に、課題解決の進め方を具体例を交えて説明するとともに、内容ごとの実践例を6種類掲載している。
- 「考えよう」「調べよう」「やってみよう」のコーナーに、実践的・体験的な活動を示している。
- 調理実習、製作、ふれあい体験の学習活動で、学習の流れや手順を示している。
- ガイダンスの「問題を解決する道筋」で、問題解決の過程を具体例を交えて示している。
- 「選択 生活の課題と実践」に「課題の決め方」を設け、手順を具体例を交えて説明するとともに、問題を挙げるためのヒントや活動過程ごとにチェックする欄を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→B食生活→C衣生活・住生活→A家族・家庭→D消費生活と環境→生活の課題と実践の順に配列している。
- 肉の調理、魚の調理、野菜の調理の順に、実習例を47示している。
- 実態に応じて選択できるように、幼児との触れ合い体験の実習例を「施設訪問」「中学校への招待」「写真での観察」の3事例を掲載している。
- 「布を用いた物の製作」では、小物、リュック、ハーフパンツなどを扱っている。
- ハーフパンツを製作する学習では、着衣したときのゆとりを想定して採寸と補正する学習を示している。
- 教科書の構成や使い方、マークの意味を見開き1ページで掲載している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「発展」のマークを付し、発展的な内容として、写真と共に事例や説明を紹介している。
- 生徒の興味関心に応じて扱えるよう、脚注の「ひとくちQ&A」を設けている。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 調理実習の主題材では、手順や食品の科学的変化を、6段階で手順ごとに写真と「ポイント」を付している。
- B食生活、C衣生活の実習では、見通しをもって学習活動ができるよう、完成品の写真を大きく掲載している。
- 説明の文章と写真と重ならないよう配置している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。
- 「実習例」「基礎技能」のページの爪を右ページの小口に設けている。

5 言語活動の充実

(1) 調べたことや実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 節の冒頭に、「話し合ってみよう」「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」のマークを付し、様々な言語活動の場を設けています。
- 「選択 生活の課題と実践」で、「内容」ごとの実践例と言語活動例を示している。レポート、プレゼンテーション、ポスター、新聞
- 「選択 生活の課題と実践」に、「まとめと発表の仕方」を設け、レポート、ポスター、新聞形式、紙芝居、プレゼンテーションなどの言語活動例と「まとめ方や伝え方のポイント」「まとめの読み方や聞き方のポイント」を示している。
- 「幼児との関わり方についてまとめよう」で、感じたことを出し合い、課題や目的に沿ってまとめる学習活動を設けている。

意見

東京書籍の教科書は、本市で使用する教科書としてよりふさわしい。

(理由)

東京書籍の教科書の特徴である、調理実習、製作、ふれあい体験の学習活動で、学習の流れや手順を示していること、ガイダンスの「問題を解決する道筋」で、問題解決の過程を具体例を交えて示していること、「選択 生活の課題と実践」を学習する際、「課題の決め方」を設け、手順を具体例を交えて説明するとともに、問題を挙げるためのヒントや活動過程ごとにチェックする欄を示していること、「内容」ごとの実践例とレポート、プレゼンテーション、ポスター、新聞などの言語活動例を示していること、「まとめと発表の仕方」を設け、レポート等の「まとめ方や伝え方のポイント」等を示していること、「幼児との関わり方についてまとめよう」で、感じたことを出し合い、課題や目的に沿ってまとめる学習活動を設けていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や学校で学んだ知識や技術を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。

1 基礎・基本の定着

(1) 基礎的・基本的な知識や技術の定着を図る工夫

- 節ごとに、見出しの下に「目標」を示し、自己評価できるようにチェック欄を設けている。
- 学習内容を確認するため、学習指導要領で示された「内容」A家族・家庭、B食生活、C衣生活・住生活、D消費生活と環境ごとの「学習の振り返り」に、確認問題「キーワードの確認をしよう」を設けている。
- B食生活では「調理の基礎」、C衣生活では「製作実習の基礎」の各節に、基礎的な技能を資料として掲載している。
- 吹き出しや「復習」「振り返ろう」のマークを付し、小学校で学んだことを示している。

(2) 伝統と文化に関する内容の記述

- 写真やイラストなどを掲載し、衣食住に関する事例を紹介している。
- ガイダンスの「年中行事とわたしたちの暮らし」で、日本の伝統的な年中行事を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを「家庭分野の学習を、はじめよう!」「年中行事と私たちの暮らし」「私の成長と、家庭分野の学習」の3つのテーマで構成し、学習の仕方を示すとともに、小学校の学習を振り返って、中学校の学習目標を記述する欄を設けている。
- 学習したことを日常生活や社会と関連付けるための「コラム」を設け、働く人のメッセージを示している。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けている。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「選択 生活の課題と実践」に、課題解決の進め方を具体例を交えて説明するとともに、内容ごとの実践例を6種類掲載している。
- 「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「実験」などのコーナーに、実践的・体験的な活動を示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A家族・家庭→B食生活→C衣生活・住生活→D消費生活と環境の順に配列し、生活の課題と実践をA・B・Cのそれぞれの後に設けている。
- 主食の調理、主菜の調理、副菜の調理、汁物の調理の順に、実習例を33示している。
- 幼児との触れ合い体験については「中学校でのふれ合い」「幼稚園でのふれ合い」の2事例を写真で示している。
- 「布を用いた物の製作」では、小物、エプロンなどを扱っている。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「発展」のマークを付し、発展的な内容として、写真と共に事例や説明を紹介している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 調理実習では、手順を写真と「ポイント」を付して示している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 調べたことや実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 各節の冒頭に、「Q」のマークを付し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」など、様々な言語活動の場を設けています。
- 「選択 生活の課題と実践」で、「内容」ごとの実践例と言語活動例を示している。レポート、マップ、プリント集
- 「話し合おう」のコーナーを側注に設け、話し合う言語活動を設けている。
- A家族・家庭の冒頭に「グループでの話し合いのポイント」を示し、話し合うテーマの例を示している。

1 基礎・基本の定着

(1) 基礎的・基本的な知識や技術の定着を図る工夫

- 節ごとに、見出しの横に「目標」を示している。
- 学習内容のふり返りができるよう、学習指導要領で示された「内容」A家族・家庭、B食生活、C衣生活・住生活、D消費生活と環境ごとの「学習のまとめ」に、自己評価ができる「学習をふり返ろう」を設けている。
- B食生活では、「調理の基本」、C衣生活は「製作しよう」の各節に、基礎的な技能を学習内容として掲載している。

(2) 伝統と文化に関する内容の記述

- 「伝統文化」マークを付し、写真やイラストなどを掲載し、衣食住に関する事例を紹介している。
- 巻末の「伝統文化を受け継ぎ、生活に生かす」で、日本全国の伝統工芸品を紹介している。

2 主体的に学習に取り組む工夫

(1) 学習意欲を高めるための工夫

- ガイダンスのページを「家庭分野の学習をはじめよう」「自立に向かって」「共生社会に向かって」「持続可能な社会に向かって」「人やものとかかわりながら学ぼう」の5つのテーマで構成し、それぞれについて説明している。
- 学習したことを日常生活や社会と関連付けるためのコラム「参考」を設け、働く人のメッセージを示している。
- 「内容」ごとの「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設けている。
- 実習ページに「応用例」を工夫例として示している。

(2) 問題解決的な学習を実施するための工夫

- 「選択 生活の課題と実践」に、課題解決の進め方を具体例を交えて説明するとともに、内容ごとの実践例を28種類掲載している。
- 「課題」「実験」のコーナーに、実践的・体験的な活動を示している。
- 調理実習、製作、ふれあい体験の学習活動で、学習の流れや手順を示している。
- 巻末の「言語活動の充実のために」で、問題解決の過程を具体例を交えて示している。

3 内容の構成・配列・分量

(1) 単元・題材や資料等の配列・分量

- ガイダンス→A家族・家庭→B食生活→C衣生活・住生活→D消費生活と環境→生活の課題と実践の順に配列している。
- 肉の調理、魚の調理、野菜の調理の順に、実習例を47示している。
- 実態に応じて選択できるように、幼児との触れ合い体験の実習例を「施設訪問」、「中学校への招待」、「子育て支援センターや児童館への施設訪問」、「映像の視聴やロールプレイングなどで、幼児の世界を体験する」方法の4事例を掲載している。
- 「布を用いた物の製作」では、小物、リュック、ハーフパンツなどを扱っている。
- ハーフパンツを製作する学習では、着衣したときのゆとりを想定して採寸と補正する学習を示している。

(2) 発展的な学習に関する内容の記述の状況

- 「発展」のマークを付し、発展的な内容として、写真と共に事例や説明を紹介している。

4 内容の表現・表記

(1) 本文の記述と適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用

- 調理実習では、手順を写真と「ポイント」を付して、示している。
- B食生活、C衣生活の実習では、見通しをもって学習活動ができるよう、完成品の写真を大きく掲載している。

(2) 文字の大きさや配色等の工夫

- ユニバーサルデザインに配慮した、判読しやすい配色やレイアウトにしている。

5 言語活動の充実

(1) 調べたことや実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫

- 各節の冒頭に、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「ふり返ってみよう」など、様々な言語活動の場を設けている。
- 「選択 生活の課題と実践」で、「内容」ごとの実践例と言語活動例を示している。レポート、壁新聞、マップ
- 「言語活動充実のために」で、手紙を書いて気持ちを伝える活動を設定している。

意見

開隆堂出版の教科書は、本市で使用する教科書としてふさわしい。

(理由)

開隆堂出版の教科書の特徴である、調理実習、製作、ふれあい体験の学習活動で、学習の流れや手順を示していること、巻末に特設ページ「言語活動の充実のために」を設け、問題解決の過程を取組例や改善例など具体的に示していること、「選択 生活の課題と実践」を学習する際、「内容」ごとの実践例とレポート、壁新聞、マップなどの言語活動例を示していること、巻末に、手紙を書いて気持ちを伝える活動を設定し、書き方と共に、生徒に書かせるページを設けていることは、思考力、判断力、表現力の育成をめざすひろしま型カリキュラムを推進している本市の取組や学校で学んだ知識や技術を家庭生活に積極的に生かすことが十分できていないという課題がある本市生徒の状況により対応することができるものである。